

北海道銀杏会第11回総会報告

会員各位

北海道銀杏会
会長 山下信行

拝啓

木々の新緑が輝きを増す時節となりました。
会員の皆様お元気でお過ごしのことと存じます。

北海道地区における東京大学の同窓会として発足した「北海道銀杏会」も11年目を迎え、去る4月16日（土）には、第11回定時総会を、ホテルオークラ札幌において開催しました。50名の会員の皆様にご出席いただき、総会では全ての議案が原案通り承認可決されたので、ご欠席の皆様には同封の資料でご報告いたします。

総会では、平成27年度事業報告・決算、平成28年度事業計画・予算を承認。同窓会連合会の岡崎一夫代表幹事が大学の近況や同窓会連合会の取り組みなどを報告しました。

引き続き講演会に移り、JR東日本の大塚陸毅相談役（昭和40年・法卒）が「観光は物見遊山か？～観光産業のポテンシャル～」と題し、観光産業を巡る現状と今後の課題などをお話されました。この中で大塚氏は「日本では長年、観光は物見遊山であって産業として認知されてこなかった。世界ではGDPや雇用の約一割を観光産業が担っているが、日本はこのレベルに達していない」と述べた上で「インバウンドを伸ばしていくために、情報発信力や受け入れ体制にまだまだ課題がある。日本は貿易立国、科学技術立国、観光立国を目指していくべきで、このうち最大のポテンシャルを秘めているのが観光だ」と強調。3月26日に新幹線が開業したばかりの北海道にとってタイムリーなテーマとあって、質問も活発に飛び交いました。

懇親会では、講師を囲んで会員同士が和やかに懇談し、最後に全員で「ただ一つ」を合唱し、大変盛り上がった懇親会は無事終了しました。

本年度の行事としては、「講演会」と「秋の旅行会」を予定しております。また、部会活動として、「赤門ゴルフ会」では、引き続きゴルフを通じての会員の親睦を深めてまいりたいと考えています。詳細につきましては「北海道銀杏会ホームページ」をご覧ください。新入会及び異動届もホームページからお願いします。

<http://www.hokkaido-ichokai.net/>

末筆ながら皆様のご健勝をお祈りいたしております。

敬具

東京大学同窓会連合会 行事報告

<http://tokyo-uni-dousoukai-rengoukai.org/index.php?FrontPage>

北海道銀杏会の第11回総会が4月16日、約50人の会員が参加してホテルオークラ札幌で開かれました。平成27年度事業報告・決算、平成28年度事業計画・予算を承認。同窓会連合会の岡崎一夫代表幹事が大学の近況や同窓会連合会の取り組みなどを報告しました。

引き続き講演会に移り、JR東日本の大塚陸毅相談役（昭和40年・法卒）が「観光は物見遊山か？～観光産業のポテンシャル」と題し、観光産業を巡る現状と今後の課題などを話しました。この中で大塚氏は「日本では長年、観光は物見遊山であって産業として認知されてこなかった。世界ではGDPや雇用の約一割を観光産業が担っているが、日本はこのレベルに達していない」と述べた上で「インバウンドを伸ばしていくために、情報発信力や受け入れ体制にまだまだ課題がある。日本は貿易立国、科学技術立国、観光立国を目指していくべきで、このうち最大のポテンシャルを秘めているのが観光だ」と強調。3月26日に新幹線が開業したばかりの北海道にとってタイムリーなテーマとあって、質問も活発に飛び交いました。

懇親会では山下信行会長（昭和40年・法卒）の発声で乾杯した後、会員同士が和やかに懇談しました。

（文責・辻岡英信）



山下会長の総会司会



岡崎事務局長の大学近況報告



大塚相談役のご講演



新入会員のご紹介



第11回総会 集合写真 (平成28年4月16日)